楠珙社

楠珙社は初辰まいの 2 番目の場所である。楠珙社の隣にそびえ立つ樹齢 1,000 年の大楠は、この神社に祀られている宇迦魂命で農耕の神である稲荷神の現われとされている。近くにある 2 本の楠は精神的な「夫婦」を形成しており、家族やビジネスパートナーの守り神と信じられている。参拝者は商売繁盛や家内安全を祈願する。

楠珙社は「招福猫」と呼ばれる縁起物の猫の置物を販売している。この土偶には、左前足をあげたものと右前足をあげたものの 2 種類がある。左前足を上げた猫は、商売繁盛、右前足を上げた猫は金運をもたらすと言われている。また、左前足の猫は奇数月に、右前足の猫は偶数月に、それぞれ交互に手に入れることができるようになっている。

同一種類の招福猫を 48 匹集めると、大きな猫 1 匹と交換することができる。大きな左右一対の招福猫と小さな招福猫 48 匹をさらに集めると、もっと大きな猫と交換できる。一番大きなサイズの左右一対の招福猫を手に入れるのは並大抵のことではない。24 年間、毎月「初辰まいり」をしなければならない。

楠珙社では、午前 6 時から午後 3 時 45 分まで初辰まいの参拝者受け付けており、お布施は 1,500 円からとなっている。みのりまいの参拝者は、種貸社で手に入れた粃種を、ここで稲穂に交換することができる。